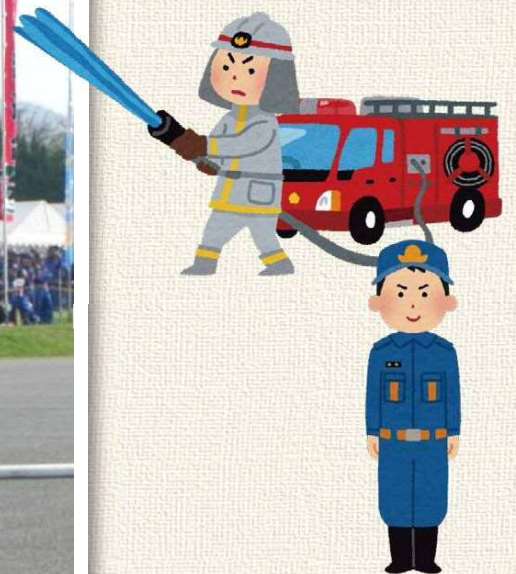


議会だより



〔9月11日(日)福岡県消防操法大会〕

主な内容

- ・特集 およのかいMIRAI との対談 2~4
- ・平成28年9月定例会 5~8
- ・一般質問 (12人) 9~15

特集

おやのかい MIRAI

～ 発達障がいの子どもの将来を
サポートする会 ～

遊びながら学ぶ！
子どもの
生きる力
育てます！

OPEN
スクール
サポート
ゆっくり

point 1
SST専門教材を使います。
発達の段階に応じた専用の
教材を使います。

point 2
個別指導で継続的に
問題に取り組みます。
家庭での心がけて
安定します。

point 3
コミュニケーション力や、
運動能力、空間認知力
ひとりひとりに必要な教材で
楽しく学びます。

どうして？
に一生懸命向き合います。
困ってる。
の解決方法探しましょう。

今回の「特集」は、雑餉隈町にある
「おやのかいMIRAI」にインタビューをしました。

「おやのかいMIRAI」とは
どのような団体ですか

簡単に言うと、大野城市ボランティアセンターに所属する、発達障がいの子どもや、その保護者をサポートし、困った時に寄り添う子育て支援や子どもの将来をサポートする会です。

設立の目的を教えてください。

私たち「おやのかいMIRAI」は、発達障がいやその疑いがある子どもたちの理解を、事業所や企業に求め、子どもたちが安心して将来働くことが出来る職場を増やすことが目的です。また、保護者や当事者、発達障がいに理解のあるボランティア会員

を増やし、色々な種類の仕事に子どもたちの派遣ができるよう目指し、子どもたちが自立し安心して生活する場所づくりを設立することを目指しています。しかし、そのような大きな目的を掲げていますが、そこに行きつくために現在は土台づくりをしているところです。

具体的な活動内容を教えてください。

●「スクールサポートゆつくり」

活動としては、子どもたちの生きる力を育てることを目的に、毎週、「SST教室」を実施しています。これは、発達面に何らかの困難さを抱えている子どもたちに、「ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）」の専門教材を使い、一人ひとりに合った問題に取り組んでいます。「コミュニケーション力や、運動能力など社会的ルールを楽しく学び、困っていることの解決方法を子ども自身に考えさせ、色々な方法を実際に繰り返し体験させ身につけさせます。そして、自立への自信へとつなげていきます。

●「フリースペース♡すまいるflower」

月に数回、不登校や学校が苦手な子どもたちの居場所づくりとして、公民館や民家を借りて「陶芸」や「バザー」「ワークショップ」など、気持ちのわかる仲間と一緒に何をしたいかを、自分たちで決めてやるというところがあります。「出来ることを少しでもいいから学んでほしい」「来てくれるだけでもいい」「そんな、子どもとおやの居場所づくりの場所です。ここでも、不登校でも子ども



自身が自立するための力をつけていくことを目的としています。

●「ペアレントトレーニング」

月に1回、保護者のための「ペアレントトレーニング」を行い、子どもへの声かけや対応を実際に楽しく体験しながら学びだりしています。

●「講演会やセミナーの開催」

講師に「障害者就労施設」や「特別支援学校の教諭」の方々をお呼びし、公開講座を年数回実施しています。参加者は保護者や障がい者教育を学ぶ学生、発達障がいに理解のある方、毎講座100名以上の方が参加してくれています。

今後の活動で問題などありますか？

現在、8名の子どもたちと、その保護者とおやのかい会員と一緒に啓発活動に参加していますが、実際は発達障がいを持つ子どもや、発達障がいと診断を受けてはいなくても、気になる子どもたちはもっと多くいるはずですが、発達障がいも早期発見、早期療育が重要です。しかしまだ多くの方が、見た目ではわからず理解してもらえず、

苦労して子育てされているのではないかと
思います。

今後、この会をどうして いきたいですか？

ひとりでも多くの方に、私たち団体の存在を知ってもらい、理解し、賛同してもらうことを願っています。そして、「SS-T」の場をもっと多くの方に知っていただき、一人で悩んでいる保護者や子どもたちの力になりたいです。

また、協力してくれるサポーターとペアレントトレーナーの育成を行っていききたいです。

行政や市議会に要望はありますか？

発達障がいをまだ理解されずに、「うちの子はそうかな？」と思われる保護者の方も多くいると思います。その為に、行政や学校、地域など、子どもたちと関わる様々な所に、この会の存在を伝えていただきたいと願っています。



「フリースペース♡すまいるflower」でのお菓子づくりの様子

大野城市もこの問題に関わっていると思います。しかし、一見してわかりづらい、わがままな子「身勝手な子」あるいは「家庭での育て方が悪い」と思われている子どもたちがいます。そこに埋もれている子どもたちや、誰にも話せず一人で悩んでいる保護者の方たちへ、是非、明かりを灯せるよう一緒に協力してくれることを望みます。

最後に、「うちの子どもはそうかな？」と感じたら、気軽に「おやのかいM-R-A-R」の扉をノックしてください。

一人で悩まないで、一緒に前へ進みましょう!!



「SS-T教室と不登校のフリースペース」は、「キリン福祉財団」、「全労済」、「九州ろうきん」、「グリーンコープ福祉基金」より企画を深くご理解いただき助成金を受けて運営しています。

審議結果一覧

平成28年第3回9月定例会

議案番号	件名	本会議結果	付託委員会
第61号議案	大野城市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	福祉文教委員会
第62号議案	財産の取得について	〃	〃
第63号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	全会一致同意	—
第64号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	〃	—
第65号議案	平成28年度大野城市一般会計補正予算(第3号)について	全会一致可決	予算委員会
第66号議案	平成28年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第67号議案	平成28年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第68号議案	平成28年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第69号議案	平成28年度大野城市水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	〃
第70号議案	平成28年度大野城市下水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	〃
認定第1号	平成27年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 認定 (賛成17・反対1)	決算特別委員会
認定第2号	平成27年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定	〃
認定第3号	平成27年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 認定 (賛成16・反対2)	〃
認定第4号	平成27年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定	〃
認定第5号	平成27年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第6号	平成27年度大野城市土地区画整理清算金特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第7号	平成27年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致 原案可決 及び認定	〃
認定第8号	平成27年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃	〃
報告第10号	平成27年度大野城市健全化判断比率について	報告	—
報告第11号	平成27年度大野城市水道事業会計資金不足比率について	〃	—
報告第12号	平成27年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について	〃	—
報告第13号	平成27年度大野城市土地開発公社の決算について	〃	—
報告第14号	平成27年度公益財団法人大野城まどかびあの決算について	〃	—
報告第15号	平成27年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について	〃	—
報告第16号	平成27年度公益財団法人大野城市体育協会の決算について	〃	—
報告第17号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	〃	—
報告第18号	専決処分の報告について(大野城総合公園内の駐車場における車両破損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	〃	—
報告第19号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	〃	—
報告第20号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	〃	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全会一致同意	—
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	〃	—
決議案第3号	市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会設置に関する決議について	全会一致可決	—

－ 陳 情 関 係 － （全議員に写しを配布）

陳 情 第 4 号	平成28年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議について
陳 情 第 5 号	玄海原発事故への備えとして安定ヨウ素剤の市民への事前配布を求める陳情書
陳 情 第 6 号	教職員定数改善、義務教育費国庫負担拡充に関する陳情書

賛否の分かれた議案(平成28年第3回9月定例会)

会派名	改革フォーラム					自民大野城					公明党			自民まどか			会派に所属していない議員			
議員氏名	松崎 正和	関岡 俊実	松田 美由紀	福澤 信光	松崎 百合子	天野 嘉久孝	山上 高昭	森 和也	井福 大昌	中村 真一	井上 正則	白石 重成	河村 康之	大塚 みどり	高山 やす子	田中 健一	平井 信太郎	関井 利夫	清水 純子	松下 真一
認定第1号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●
認定第3号	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●

(○：賛成、●：反対、欠：欠席、-：議長は表決に加わらないため)

◆ 議会の動き ◆

- | | |
|--|---|
| <p>7月5日 広報委員会</p> <p>11日 議員研修会</p> <p>7月14日 議会運営委員会</p> <p>シビックゾーン構想調査特別委員会</p> <p>7月22日 広報委員会</p> <p>会派代表者会議</p> <p>8月9日 全員協議会</p> <p>総務企画委員会</p> <p>(まどかびあ図書館・福岡市)</p> <p>8月9日 福岡都市圏議長会視察研修会</p> <p>(松山市・今治市)</p> <p>8月9日 シビックゾーン構想調査特別委員会</p> <p>広報委員会</p> <p>25日 議会運営委員会</p> <p>会派代表者会議</p> <p>9月1日 本会議(初日)</p> <p>全員協議会</p> <p>2日 広報委員会</p> <p>6日 本会議(2日目、付託)</p> <p>会派代表者会議</p> <p>7日 福祉文教委員会</p> <p>9日 予算委員会</p> <p>13日 決算特別委員会</p> <p>広報委員会</p> <p>14日 決算特別委員会</p> <p>15日 決算特別委員会</p> <p>16日 本会議(3日目、一般質問)</p> <p>議会運営委員会</p> <p>会派代表者会議</p> | <p>9月20日 本会議(4日目、一般質問)</p> <p>議会運営委員会</p> <p>21日 シビックゾーン構想調査特別委員会</p> <p>26日 議会運営委員会</p> <p>本会議(最終日)</p> <p>全員協議会</p> <p>27日 議会視察(益城町・南阿蘇町)</p> <p>10月4日 広報委員会</p> <p>12日 福祉文教委員会行政視察</p> <p>14日 (武蔵野市・三鷹市・立川市)</p> <p>福岡県南市議会議長会</p> <p>14日 シビックゾーン構想調査特別委員会</p> <p>市民に開かれた議会をつくる</p> <p>調査特別委員会</p> <p>17日 広報委員会</p> <p>18日 福岡県市議会議長会</p> |
|--|---|



委員会報告

～主な審査内容～

福祉文教委員会

第61号議案

「大野城市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」

Q 母子家庭の母の配偶者や、父子家庭の父の配偶者とは、具体的にどういうことなのか

A ひとり親家庭等医療においては、両親（父母）がおられる場合であっても、例えば、母または、父に一定の障がいがある場合や、生死不明で1年以上経過した場合、法令拘禁が1年以上経過した場合など、母子（父子）家庭とみなして助成されるケースがある。



第62号議案

「財産の取得について」（牛頸須患器窯跡（仮称）小田浦史跡公園整備事業用地）

Q 一部取得用地に指定されていないが、この場所は、問題ないのか

A 小田浦池の池敷の一部であり、大野城市の土地となっているので取得の必要はない。

Q 用地は、平野中学校の分離校のために購入されたが、公園用地とすることで支障はないのか

A 平成6～7年度に、平野中学校分離校用地として取得したが、平野中学校の生徒数が伸びなかったため、平成14年度に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、分離校以外の事業目的として文化財での活用が図られた。その後、窯跡があることをふまえ史跡指定をめぐってきた。

Q 購入金額は、妥当な金額なのか

A 土地開発公社が、当初に購入した金額に、利息・経費・事務費を加えた金額となっており、買い戻す金額としては妥当である。

予算委員会

第65号議案

「平成28年度大野城市一般会計補正予算（第3号）について」

Q 街頭見守りカメラの追加設置について

A 現在、自転車駐輪場に23台のカメラを設置しているが、春日警察署から性犯罪等の抑止のために街頭防犯カメラ設置の依頼があり、また、地域からも犯罪抑止の要望が上がっていることから、警察と協議を行い、犯罪抑止効果の高い市内3カ所へ街頭見守りカメラを設置するもの。

Q ランドセルクラブの参加児童が当初の見込みより増えることで、留守家庭児童保育所の児童が減れば、その事業費も減るのか

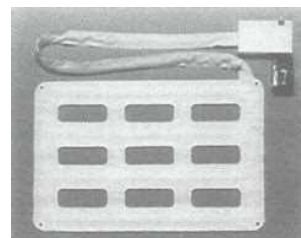
A 留守家庭児童保育所とランドセルクラブは一体型の運営を目指している。それぞれの経費についても試行期間で検証していく。

Q 介護ロボット導入のための補助はどの事業所に行うのか

A 南ヶ丘の介護付き有料老人ホーム、筒井のグループホーム、乙金東の介護老人保健施設の3カ所に補助を行う。

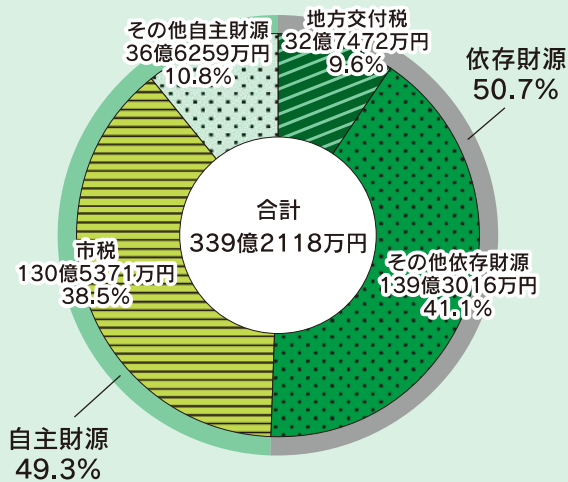
※今回導入する介護ロボットとは

要介護者のベッドの下にセンサーを置き、脈拍や脳波などの情報をモニターして、夜勤者に情報を送り、介護者が目覚めて起き出す前に、目覚めの兆候を捉えて、適切に介助するもの。

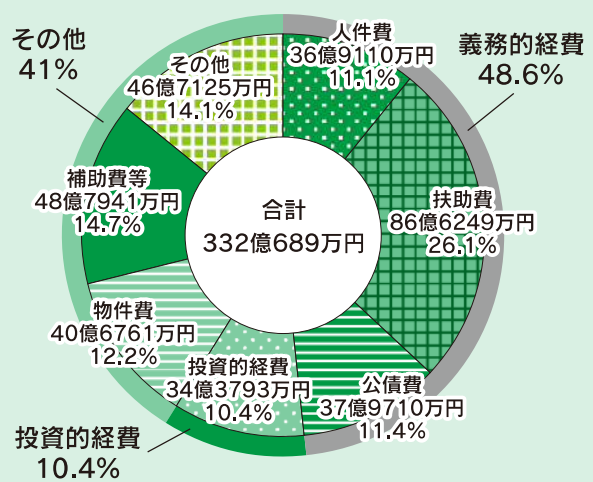


決算特別委員会

平成27年度一般会計歳入決算額



平成27年度一般会計歳出決算額



※平成27年度決算の詳細は、広報大野城11月15日号をご覧ください。

認定第1号

「平成27年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について」

Q 中学生向けデートDV研修実施事業について

A 心身ともに成長期にある中学生に対し、正しい人間関係、特に友人・恋人等とのコミュニケーションなど、知識やスキルを身につけてもらうことで若年化するDV被害を防止することが、その目的となっている。

Q 平成27年度の子ども相談センターでの相談対応件数や対応方法件数について

A 子ども相談センターでの相談対応件数1万1437件のうち、電話相談が7,075件、相談室での面接が3,164件、家庭訪問が826件、ペアレントトレーニングが25件、その他が347件となっている。

Q 奨学資金の利用状況について

A 毎年夏に募集し、8月に選考委員会を実施し、内定者を決めている。平成27年度は、高校生の奨学生17名、大学生2名、合計19名に支給している。

Q 「市役所」と「すこやか交流プラザ」を一つの警備会社に委託し、経費節約することは可能かどうか

A 二つの施設の警備を一つの契約にすることは可能。契約の期間を合わせる必要があり、警備契約は3年間の契約となるので、次回の契約時に検討する。

Q 災害情報等配信サービスによる情報の伝達について

A 避難勧告等を発令する可能性のある区域や、災害情報伝達システムの難聴区域に居住する市民及び視覚・聴覚障がい者等に対し、災害情報等を確実に伝えるシステムで、平成26年7月に導入したものである。具体的には、市において避難勧告等の災害情報をパソコンに入力し、事前に登録いただいた世帯に対し、人工音声による電話通報、ファクスまたはメールでお知らせするもの。平成27年度末現在の登録世帯数は790件となっている。

11月15日 京都府八幡市
業務継続計画(地震編)について

11月10日 長崎県吉岐市
高齢者移動支援事業について

11月10日 愛知県犬山市
公園施設・遊具への助成事業について

11月8日 北海道千歳市
14日 千葉県東金市

10月26日 群馬県藤岡市
10月27日 千葉県習志野市
「まどかフロア」について

7月26日 愛知県岡崎市
10月14日 山形県寒河江市
ワンストップ窓口

7月26日 愛知県岡崎市
10月14日 山形県寒河江市
「まどかフロア」について

視察来庁

一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像をみることができます。

中村 真一	<ul style="list-style-type: none"> 消防団について マナーアップ対策について ★公共施設の長寿命化の対策について 	松田美由紀	<ul style="list-style-type: none"> ★高齢者運転免許証自主返納支援について 水素を活用する社会に向けた取り組みについて
森 和也	★都市計画について	松下 真一	★本市の教育行政に対する見解について
平井信太郎	<ul style="list-style-type: none"> ★小中学校のグラウンドの管理と有効利用について 本市の情報伝達システムについて 	井上 正則	<ul style="list-style-type: none"> ★空き家活用について 医療費助成について
河村 康之	<ul style="list-style-type: none"> ★障がい者施設について 税徴収の確保と手段について 	松崎 正和	<ul style="list-style-type: none"> 中学校運動部活動における越境入学について ★超高齢者社会での地域が抱える問題について
大塚みどり	<ul style="list-style-type: none"> ★市民相談の拡充について 音楽教育の拡充について 	清水 純子	<ul style="list-style-type: none"> 市役所駐車場の適正管理について ★赤ペン先生について
松崎百合子	<ul style="list-style-type: none"> ★(仮称)大野城心のふるさと館について 新入学時の学用品費について 原発事故から市民の安全を守る対策について 	井福 大昌	★本市の子どもたちの未来と動物愛護

公共施設の改善計画検討を

中村 真一



問 総合体育館の大規模改修工事や増築工事の計画について

答 大規模改修工事は、平成2年及び平成13年に屋上防水や外壁塗装工事等の改修工事を行った。なお、増築工事は行っていない。

問 バリアフリーについてはどこまで整備されているか

答 建築当初よりスロープやエレベーターを設置。平成13年の改修時に、要綱に基づき、スロープに手すりを設置。

問 人口増加に伴う公民館の改築・改修、集会所の増設等は検討しているか

答 住民の利用ニーズを踏まえ、改修要望の聞き取りを行い、予算の範囲内において改修を行っている。区内の世帯数や人口が著しく増加し、適切な運営が行えない状況と判断され、新たに分区された場合は、区の規模や集会所の設置状況を勘案し、条例の基準に基づき新たな公民館の設置を行う場合もある。

問 北市民プールの温水施設計画を検討してはどうか

答 ウォータースライダーを覆う必要があり、建築費用やその後の維持管理にかかる費用など、コスト面で改修は難しい。

問 市民プールの増設計画を検討してはどうか

答 南市民プールを平成12年度に廃止した経緯がある。慎重に検討を進める必要があると考えている。



北市民プール
(北コミュニティセンター横)



▲映像はこちら

道路について (道路整備と美化の観点から)

森 和也



問 月の浦区の歩道を新設してもらいたいという要望が住民から出ている。要望を把握しているか、また、計画があるか

答 平成26年7月に地元から提出されておられ、歩道新設の声があることは把握している。要望されている場所は、本市と春日市にまたがっており、春日市との調整が必要となるが、春日市側は地元からの要望や整備計画がないことから、実施にはいたっていない。現在整備計画はないが、今後改めて春日市と調整をすすめていきたいですね。

問 道路沿いの街路樹や草取りなどの整備については、どのように管理しているか。定期的に行っているのか、各地区からの要望に基づいて行っているのか

答 街路樹の管理については、都市景観に安らぎと潤いを与える重要な要素であり、年間を通して専門業者に維持管理を委託している。年度当初に現地を調査し、作業工程の検討、樹木の種類に応じた剪定、消毒等の時期及び

施工順番の決定を行い、定期的に管理している。また、各地区及び住民の方々からの意見・要望を受けた場合、現地を確認し、臨機応変に対応している。

問 ホームページから、本市の道路台帳等が閲覧できるか

答 今年度、台帳情報を統合型地理情報システムに集約する作業を行っており、次年度以降、公開できる台帳は閲覧できるようにしていく。



アフター ビフォー

場所：月の浦2丁目どんぼ池東側



▲映像はこちら

小・中学校のグラウンドを 有効活用しよう

平井 信太郎



問 平野中で防塵対策の不備が見られたが、全小中学校のグラウンドの防塵対策の検証は行われたか

答 今後、砂埃を軽減するため、時期・天候、業者の意見を考慮し対策を行う。

問 大野東小の夜間照明は暗いと感じる。全小中学校の照度は適切であるか

答 必要に応じて、照度測定を行い、照度不足の学校は改善の検討を行う。

問 大野東中、大利中には夜間照明設備があるが、御陵中、大野中、平野中には無いのはなぜか

答 当初設置時（約40年前）に、コミュニティ毎の設置を2校とし、大野東中と大利中に設置した。その後、社会体育団体等の増加により小学校を学校開放施設としたため、照明設備を設置した。

問 屋外が暗い時期には、子どもの安全確保等のため、中学校に適切な夜間照明設備が必要と思う

答 が如何か
社会体育団体が学校施設を使用する場合、夜間照明設備は必要と考える。中学校のクラブ活動には考えていない。

問 地域住民のコミュニケーション向上と地域の活性化のために中学校のグラウンドを有効利用しはどうか

答 今後、社会体育団体等の利用希望が増え、開放施設が不足する場合、未設置の中学校への夜間照明設備の設置を検討する。今後スポーツの楽しさ等を市民に知らせ、スポーツ人口が増加するよう対策、研究を進める。



▲映像はこちら

障がい者施設での 防犯対策について

河村 康之



問 本市の障がい者施設、高齢者の介護施設における防犯対策の取り組みは

答 相模原市の事件を受けて障がい者入所施設、グループホーム等に、施設の防犯体制の聞き取り調査を行った。9月29日には、障がい者施設を対象に安全対策研修会を実施する。また、高齢者の宿泊を伴う介護保険施設を対象に7月29日に文書で防犯措置の徹底や通報体制の構築、地域との連携強化といった入所者の安全確保に関する注意喚起を行うとともに、防犯対策の聞き取り調査を行った。

援の在り方等、検討が必要、そして国や関係機関の動向も見ながら、調査・研究を行いたい。

問 障がいの有無にかかわらず、尊重しあう本市の目指すべき取り組みは

答 障がい者への市民の理解促進・啓発活動の実施等や差別の解消の推進を図るため、障害者差別解消法に基づく職員対応要領を作成し、障がい者に対する適切な対応を徹底している。障がいの有無に関係なく、等しく尊重し合う地域社会の実現を進める。

問 障がい者や家族の不安を取り除くための対策は

答 障がい者施設と連携し、安心して生活できるよう働きかけている。また、安全対策研修会でも施設にアンケート調査を行い、今後の対策を検討する。

問 施設の防犯対策費の助成について

答 有効な防犯手段の検証、市の支



▲映像はこちら

市民相談における 精神対話士について

大塚 みどり



問 青少年や子どもを対象とした相談件数。それらの内容の本市の特徴や課題は

答 子ども相談センターでは、平成26年度の新規相談者は171名、平成27年度は353名。家庭環境、育児・しつけ、児童虐待等の養護相談が増え、相談員の業務量も増えている。教育サポートセンターでは、平成27年度は748件。内容は、発達、就学に関することやいじめ問題で、不登校相談が大変多くなっている。

問 心のケアの専門職である精神対話士の活用が注目を浴びているが、専門医や精神保健福祉士、臨床心理士とはどう違うのか

答 精神対話士は、一般財団法人メンタルケア協会養成講座を終了し、選考試験合格で取得する資格。温かな対話を通して相談者の話に傾聴し、医療行為や精神療法を行わない。学歴や年齢を問わず取得できる。メンタルケア協会との契約締結に基づき、就業形態が派遣となっている。

問 対話を通して心のケアサポートをする精神対話士を導入し、市民のためにきめ細やかな相談体制を確立すべきではないか

答 子ども相談センターでは、平成27年度電話対応が7,075件、面接対応が3,164件、訪問対応が826件となっている。相談員の資質向上は欠かせないものと考えている。精神対話士の導入については、今後、関係各課と連携して調査・研究をしていきたい。



心の訪問（アウトリーチ）の専門職
精神対話士



▲映像はこちら

（仮称）大野城心のふるさと館 着工への提案

松崎 百合子



問 建設について市民への説明は十分だったか

答 積極的に市民参画を図りながら事業を進め市民の理解は着実に深まっていると認識している。

問 館名に「歴史」が必要では

答 歴史資料展示室や歴史民俗資料館が持つ機能を包含した新しい施設である。設置目的を表し、市民に親しみやすい名称とする必要がある。

問 日本最古の朝鮮式山城・大野城跡について、関係国との友好と平和のシンボルとしては

答 一昨年10月古代山城関連自治体が百済最後の都である韓国忠清南道扶余郡を訪問。本年9月30日には韓国扶余郡において日韓古代山城保存活用政策フォーラムが開催、本市も発表予定。今後も交流を続けたい。

問 「昭和の暮らし体験コーナー」に戦争の歴史を伝える展示は

答 心のふるさと館の展示機能を活かして、平和の大切さを市民に

伝える事業を行うことは可能であると考えている。

問 トイレについて、ジェンダーや乳幼児等への配慮は

答 ユニバーサルデザインの視点から、多目的トイレを設置。性別、乳幼児連れ、様々な身体状況に関わらず利用可能に。

問 カフェについて、ひとり親当事者団体へ運営を任せることで子どもの貧困防止につなげられないか

答 カフェや特産品PRコーナーは施設管理運営計画で検討中。基本的考え方は多様な市民参画を得た施設運営である。



大野城心のふるさと館
大野ショー



▲映像はこちら

効果的な運転免許証 自主返納支援の実施とは

松田 美由紀



問 高齢者による自動車運転事故率の推移はどのようになっているか

答 本市の高齢者の自動車運転事故割合は、平成17年は6%、平成27年は18%となっている。福岡県の全体の事故件数に対する高齢者自動車運転事故の割合は平成17年の9.6%から平成27年の18%と増加傾向にある。

問 70歳以上の人数と免許保有者数は何人か

答 平成28年7月末の本市の70歳以上の人口は1万3,442人で、そのうち運転免許の保有者数は5,534人。70歳以上の方の41%が免許を保有している。

問 運転免許証返納制度が開始されてから現在までの本市の免許証自主返納者数は何人か。自主返納率は県内の他自治体と比較してどうか

答 制度開始から現在までの本市の自主返納件数や自治体別のデータの比較は把握できていない。春日署管内の運転免許証の返納

件数は平成26年が77件、平成27年が125件。福岡県全体の免許返納件数は、平成26年が7,522件、平成27年が7,795件となっている。

問 他の自治体では高齢者の交通事故を防ぐため、運転免許証の自主返納を支援する事業を行っている。本市の考えはどうか。

答 効果的な交通事故減少対策については、総合的に研究をしたいと考えている。



▲映像はこちら

本市の教育行政に対する 見解について

松下 真一



問 空調整備について、平野小学校の空調整備工事が延期になった理由は何か

答 空調整備は、近年の夏季の猛暑等に対する良好な教育環境改善を図るものであり、当初、平成28年度から平成30年度までの3カ年を予定していたが、大規模改造工事に対する国の補助が得られなかったため、平成29年度から平成30年度までの2カ年の計画に変更した。

問 講師確保について、今後加配教員にて余裕のある人材確保を行う考えはあるか

答 教職員の配置については、基本的には、福岡県教育委員会によるものであり、現時点では、市独自に採用する考えはない。

問 中学校の、制服の統一化による保護者負担の軽減策は検討したか

答 中学校の制服は、単に全生徒共通の服というだけでなく、各学校の伝統や独自性を表しており、教育指導上の意義もある。経済



▲映像はこちら

的負担の軽減と各学校独自の制服を定める利点の両面を比較しながら、調査・研究する。

問 第3子の給食費無償化事業を行う考えはないか

答 現時点での第3子への給食費の無償化は考えていない。但し、全国の一部の自治体で実施され、第1子から完全無償化をしている自治体もある。今後も、経済的な支援が必要な保護者には、就学援助を通じて支援を行う考え。

空き家活用について

井上 正則



問 空家等対策の推進に関する特別措置法が昨年5月に全面施行され、本市にも条例に基づく審議会を設置した。その中で、昨年7月から空き家及び老朽危険家屋等の調査を実施した結果、法整備によって対策に乗り出しやすくなったと思うが見解を伺いたい

答 法の整備により、市に空き家等の所有者に対する調査権が付与されたため、適正管理に関する助言等の通知や啓発が行いやすくなった。現在市としては、老朽危険空き家等除却促進事業補助金交付要綱を定め、危険な空き家の早期除却のため、解体費の2分の1、最高50万円までの補助制度を整備・活用しながら、対応を進めている。

問 利用可能な空き家に対し不動産関係団体との連携の状況及び空き家を利用したい人へ情報提供する「空き家バンク」制度を活用しての取り組み状況は

答 空き家バンクについては、現在策定中の空き家等対策計画の中で、県内の先進自治体の調査・

研究を行いながら、不動産関係団体等との連携を図るなど、前向きに検討していきたい。

問 国土交通省の有識者委員会は7月に空き家・空き室を活用し低所得者や高齢者、子育て世帯などに安く貸し出す民間賃貸住宅制度の創設を求める中間報告を公表。見解を伺いたい

答 国は低所得の高齢者世帯など、住宅確保要配慮者の増加に対応するため、空き家の活用を促進。民間賃貸住宅を活用した新たな仕組みの構築も含めた住宅セーフティネット機能を強化。現在策定中の空き家等対策計画の中では、空き家バンク等の活用による空き家の流通等について検討。低所得者や高齢者等に向けて空き家の情報提供等についても、検討していきたい。



▲映像はこちら

「側溝整備」 工事手法を変えスピードアップ

松崎 正和



問 高齢者居住地域での側溝整備が遅れているようだが市長の認識は

答 これまでの側溝と舗装を一体的に整備する方法だけでなく、コスト縮減と工事期間の短縮に向け、ふたかけだけの整備方法を取り入れることとしている。

今回の計画では、整備が遅れている南ヶ丘1区、2区、金東区、若草区を対象としている。高齢者の安全確保の観点からも、まずはこの4地区の整備を進めていく。

問 ここ3年間の整備状況（延長、予算）を報告願いたい

答 26年度は、約2億円の予算の中で、従来の整備方法とふたかけだけの整備方法を用いて、側溝延長で1,100m、27年度は、同じ方法で2,296mを整備。今年度からは、従来の方法で1,000m、ふたかけだけの方法で3,000mの合計4,000mの整備を目標としている。

そのため、今年度から、ふたかけだけの整備費用として、3、

300万円を予算計上している。

問 3年程前の決算特別委員会で、「整備工事の手法を変更し、スピードアップする」との答弁があったが、どのように変化したのか、また、今後の整備計画について報告願いたい

答 ふたかけだけの整備方法を取り入れたことにより、従来の方法に比べ、整備期間は約5分の1に短縮され、おおむね10年間で整備完了を目指している。



整備前



整備後



▲映像はこちら

守秘義務って？

清水 純子



問 赤ペン先生の目的とその成果について

答 算数科を中心とした学力補充や保護者等への開かれた学校づくりの推進を目的としている。

問 児童にとっての学習支援なのか
先生にとっての支援なのか

答 1人の教師で約40人の子どもが問題を解いてきたときに、1人で丸つけをするより量的な側面に関しては赤ペン先生のお力を借り、理解が不十分な子には個別的な指導に当たるといふペア的な機能を持ち、何よりも子どもに利点があるという発想で指導に当たっている。

問 児童の個人情報の保護はどのようになっているか

答 年度当初、あるいは学期の進行過程において、赤ペン先生に依りて頂いた保護者の方々に、守秘義務については一番強い口調で申し上げている筈で我が子が在籍する学年にできるだけつけない、あるいはよく知っている子どもの保護者の方の学級には

ならないなど、配慮をしている。子どもたちの学習の様子について、知り得たことを軽々に、その場以外のところでお語りにならないように強く注意している。年度途中だが、区切り目のいい所で再度、足もとをしっかりと見詰め直すように指導していきたい。人権という立場で、子どもたちの意欲が損なわれないように指導を重ねていく。



▲映像はこちら

本市の子どもたちの 未来と動物愛護

井 福 大 昌



問 米国では心理異常疾病受刑者の78%が身近な小動物を虐待・虐殺していたという統計があり、国内でも埼玉連続幼女誘拐殺人事件の宮崎勤や神戸連続児童殺害事件の少年Aもそうだと言われている。猟奇犯罪と動物虐待の関連性が叫ばれている中、本市の小中学校で、動物愛護に関する授業や取り組みなどは行われているか

答 小中学校の全学年において、道徳の時間に動物愛護にかかわる内容を学習している。また、小学校低学年の生活科の学習では、昆虫や水辺の生き物を育てたり、3年生以上では、理科の学習として、季節と生き物とのかかわりを学習したりしている。授業以外では、飼育委員会が学校で飼育しているウサギと「触れ合う会」などを昼休みに企画している。

問 身近な動物の命も大切にできない社会は人の命を大切にできないと思うし、行政や自治体が犬猫を殺処分する姿を子どもたちが

に見せるべきではないと考えるが、本市での動物愛護への取り組みの今後の展望を教えてください

答

飼い主に命ある動物の所有者であることを十分自覚してもらうために、飼い主の責任などを記載したチラシやパンフレットを作成し、イベント開催時や地域の方に配布して周知に努めたい。また、子どもたちに対しては、思いやりのある気持ちと命を大切にすることを育てるために保健所と連携し、動物愛護教室の実施に向けて取り組んでいく予定である。



▲映像はこちら

大野城市議会の取り組み

インターシップ(就業体験)学生がやってきました!

市議会の取り組みで、議会事務局にインターシップ(就業体験)として、8月24日から9月6日までの10日間、市を通じて申込みをした福岡女子大学の平岡あづささん、福岡大学の和田翔太さん、近畿大学の矢野尋さんの3名を受け入れました。今回、議場見学や議会傍聴などを通して、日頃接することない議会の体験をし、議会の仕組みを学び、学生の視点から見て学び取った議会のことをまとめ、市民向けパンフレットを作成してもらいました。今後、より開かれた議会を目指



矢野さん 和田さん 平岡さん

して、もっと議会のことを知っていただく機会を増やしていきたいと考えています。

★感想をご紹介します。

【平岡さん】 今回の就業体験で、事務局の方々にご指導いただき、議会等を傍聴する中で、市議会のことだけでなく、社会人として大切なことも多く学ばせていただきました。このパンフレットで少しでも多くの方に興味を持っていただきたいと思います。

【和田さん】 議会パンフレットを作成するにあたって、議会の傍聴や大野城市のホームページを見ることで、大野城市議会のことを学びました。私たちの作成したパンフレットで、一人でも多くの方に議会の内容を理解してもらえたらと思います。

【矢野さん】 今回のインターシップでは、パンフレットの作成と議会の傍聴を行いました。

局内の方や議員の方々にアドバイスを頂く中で、議会に関する知識が増え、議会への関心も高まりました。議会の雰囲気や現場で感じる事ができ、いい経験ができたと思っています。

★パンフレットは、事務局でお配りしています。また市議会ホームページにも掲載しております。

議会のここが知りたい

〔質問〕議員の皆さんは、よりよい大野城を作るためにどのような仕事をされていますか？

〔回答〕いくつかありますが、それぞれを端的に言いますと、まず、議会中は市が行っている事と、その予算が適正であるかどうかを審査しています。

また、市民の代表として市に対する質問や要望を行います。市の条例の制定や改正も審査します。

議会が開かれていない時は、各専門分野の委員会、会派などにわかれ、それぞれ問題解決にむけて、話し合い、調査、視察などを行っています。また、市全体のイベントや地域の行事に積極的に参加し、市と地域に関わっています。

〔質問〕議会の仕事で一番のやりがいはなんですか？

〔回答〕20名の議員それぞれの感じ方や考え方がありますので、一概に言えることはありません。しかし、ひとつ言えることは、議会の場などで、市民の代表として皆さんの意見を代弁しているときなどは、大きなやりがいを感じているだろうと考えます。



フィンシー・クリストファー さん
(白木原在住)

そして、すべての職務において、やりがいと責任を持って遂行しております。

〔質問〕議員の皆さんは大野城市の5年後、10年後にどのようなビジョンを描いていますか？

〔回答〕これもそれぞれ個人でビジョンがありますので一概には言えませんが、多くの議員が成熟社会のための、高齢者、子育ての支援を軸とした福祉の充実とにぎわい、地域活力、安心安全、魅力発信を軸としたコミュニティ都市としての発展を願っており、そして、そのために働いていると言えるでしょう。

平成28年 第4回12月定例会(予定)

- 12月1日(木) 10:00～ 本会議 提案理由説明
- 12月6日(火) 10:00～ 本会議 質疑・付託
- 7日(水) 10:00～ 各常任委員会 12日迄
- 14日(水) 9:30～ 本会議 一般質問
- 15日(木) 9:30～ 本会議 一般質問
- 19日(月) 10:00～ 本会議 報告・討論 採決

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

あんな

あらゆる情報を瞬時に入手できるインターネット社会。生活に欠かせない存在です。

最近「灯火親しむ」読書の秋という言葉、あまり聞かなくなったと感じますが、本離れがその一因？と思っていました。本離れがその一因？と思っていました。文化の見直し、役割の再認識が進んでいるとのこと。読書好きの方にとってはうれしい話です。出版業界が絶版状態の良書を復活したり多様な趣味に特化した本の出版など「本」ならではの楽しみ、思索に欠かせない存在として見直されています。

「文字活字・文化の日」が書に親しむきっかけになればと思います。

(S・S)